

2日目

6. 前日の意見交換会について

①有意義な時間でしたか？

- A. 強く思う 14
- B. そう思う 9
- C. あまり思わない 1
- D. 全く思わない 0

②より良い時間にするために、ご指摘、ご助言、ご疑問等をお書き願います。

- ・ 研修とは違う内容での意見を他の先生から聞けた。
- ・ いろいろな施設での問題点を聞いて良かった
- ・ これはこれでよいと思う。名札はつけた方がいいかな
- ・ ざっくばらんにフランクに意見交換ができた

7. WS3「救急搬送受入の円滑化について」

①有意義な時間でしたか？

- A. 強く思う 18
- B. そう思う 22
- C. あまり思わない 0

②より良い時間にするために、ご指摘、ご助言、ご疑問等をお書き願います。

- ・ 具体的で参考になった
- ・ 時間配分はよいし、症例もよかった
- ・ 問題となる事例のケーススタディーであり具体的に議論ができた
- ・ 研修会の中で最も現実的な対応について議論できたと思います
- ・ 実際のケースを分析しながらなので、自県に当てはめて考えることができ有意義だった。
- ・ 個別のケースに関して考えられることはよかったと思います。WS全体を通して感じたことなのですが、「MCとして…」という部分にあまりにも重きを置いて進められている気がします。
- ・ 都市と地方の救急の問題点が多少異なるため勉強になった。
- ・ ディスカッション進めにくかったです。もう少し進めやすくする雰囲気方向になるような手助けがほしかったです。林先生のまとめはとてもわかりやすく、それぞれのお題で考えるべき内容がつかめました。
- ・ 設定の状況は自地域ではありえない。救命センターが断れないのが現実。無理に画一的な話をさせる必要があるのか。
- ・ 実際にどうするのかを考えると難しいと思います。
- ・ 1つの事例に対する検討時間がもう少しほしかった。
- ・ 様々な業種例えば救急救命士などを交えたらよいものになると思う
- ・ 少し長い。講義がランチンとかぶり気味で精神科救急は大切なところなので講師1名で長くとってみては。ワークショップと切り離れた方がいい

8. ランチョンセミナー「精神科救急の現状について」

①有意義な時間でしたか？

- A. 強く思う 13
- B. そう思う 25
- C. あまり思わない 2
- D. 全く思わない 0

②より良い時間にするために、ご指摘、ご助言、ご疑問等をお書き願います。

- ・ 勉強になりました
- ・ 地域により大きな差異があることが認識できた
- ・ 内容が総論的すぎる印象です
- ・ 以前にも聞いたことのある講義だった
- ・ 精神科の先生の話聞く機会があまりないので貴重な経験でした（昼食を食べながらだったのでもう少しゆっくり話を聞きたかった）
- ・ 違うアプローチが聞いて参考になった
- ・ ランチョンでは話が聞きにくい。前の講義と合して1つのセッションでいいのでは
- ・ 結局精神科としてソフト救急を受け入れるというコンセンサスが得られなければ何も変わらないのではと印象を持ちました。

9. WS4「行政・消防機関・医師会等との連携について」

①有意義な時間でしたか？

- A. 強く思う 19
- B. そう思う 21
- C. あまり思わない 0
- D. 全く思わない 0

②より良い時間にするために、ご指摘、ご助言、ご疑問等をお書き願います。

- ・ 地域包括ケアと高齢者救急問題の諸問題を把握する機会となった
- ・ 在宅、訪問看護と救急医の関わりについて全体のかかわりがわかり参考になった。
- ・ 地域包括ケアにかかわることはMC 医師にとっても希望をいただける仕事になると思うし、我々はその役割を持っていると思う。
- ・ 勉強になりました
- ・ 連携に重要性は行政としても認識しているが、他職種との連携するためには時間とマンパワーが必要
- ・ 個人的には興味深い内容でしたが、MC の在り方との関係についてはイメージできませんでした。
- ・ やっぱり MC 医師のすることがはっきりしません。そのあたり次回はクリアにした方がいい。（たぶん地域と行政の橋渡しをして問題解決に導くために先頭を走ると感じとは思いますが。。）

10. ディスカッション

①有意義な時間でしたか？

- A. 強く思う 10
- B. そう思う 26
- C. あまり思わない 2
- D. 全く思わない 0

②より良い時間にするために、ご指摘、ご助言、ご疑問等をお書き願います。

- ・ MC 医師と救急科専門医との関係性とのスライドにあったのですが、この答えが知りたかったです。MC 医師は救急専門医でなくてもよいので初夏。関わりたいと思ったときに、どこに（だれに）働きかければいいのでしょうか。
- ・ 国が求めているものと地域で求められているものの差がよくわからなくなった
- ・ 一見して遠回りな作業に見える MC の存在だからこそ救急医療を円滑に回す活きたシステムを構築すると思う
- ・ ようやく少しわかりました

厚生労働科学研究費補助金 地域医療基盤開発推進研究事業

増加する救急患者に対する地域での取組（特に地域包括ケアシステムの
構築にむけたメディカルコントロールの活用）に関する研究
平成27年度 総括・分担研究報告書

発行 平成28年3月31日

発行者 平成27年度厚生労働科学研究費補助金地域医療基盤開発推進研究事業
増加する救急患者に対する地域での取組（特に地域包括ケアシステムの
構築にむけたメディカルコントロールの活用）に関する研究
研究代表者 行岡 哲男（東京医科大学救急・災害医学分野）
東京都新宿区西新宿6-7-1 TEL 03 (3342) 6111
